
北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 17 号(通巻 No.230)

2006 年 9 月 19 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2006 年 9 月 8 日 ~ 9 月 14 日

調査海域および調査点 : 道東太平洋(北緯 41 度 10 分 ~ 42 度 39 分, 東経 143 度 29 分 ~ 146 度 50 分)における 6 調査点(図 1, 表 1)

調査方法 : 9 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 6 調査点の表面水温は 18.1 ~ 22.3 (前年 14.6 ~ 19.5), 50m 層水温は 2.9 ~ 12.1 (前年 3.2 ~ 11.3), 100m 層水温は 3.8 ~ 9.4 (前年 2.0 ~ 8.1) でした(表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで, 流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は, 3 調査点で 9 ~ 80 尾, 合計 164 尾漁獲されました。CPUE は 27.3 尾/回で, 前年の 356.2 尾/回を大きく下回り, 1994 年以降では 6 番目に低い値でした。魚体は体長 17 ~ 37cm 台で, 21 cm 台と 31 ~ 32cm 台が主体でした。

マイワシは, 1 調査点で 52 尾漁獲されました。CPUE は 8.7 尾/回で, 前年の 1 尾/回を上回り, 1994 年以降では 2003 年に次ぐ値でしたが, 依然低い値でした。魚体は体長 17.0 cm 台が主体でした。

カタクチイワシは, 3 調査点で 1 ~ 7,859 尾、合計 7,947 尾漁獲されました。CPUE は 1,324.5 尾/回で, 前年の 245.4 尾/回を大きく上回り, 1994 年以降では 3 番目に高い値でした。魚体は体長 10.5 ~ 14.5cm 台で, 13.0 cm 台が主体でした。

サンマは, 6 調査点で 1 ~ 1,290 尾, 合計 2,086 尾漁獲されました。CPUE は 347.7 尾/回で, 前年の 191.0 尾/回を上回り, 1994 年以降では 2003 年に次いで 2 番目に高い値でした。魚体は体長 17 ~ 33 cm 台で, 30 cm 台が主体でした。

スルメイカは, 漁獲されませんでした。したがって CPUE は 0.0 尾/回で, 前年の 1.6 尾/回を下回り, 1994 年以降では最も低い値(初めて皆無)でした。

アカイカは, 5 調査点で 14 ~ 141 尾, 合計 246 尾漁獲されました。CPUE は 41.0 尾/回で, 前年の 25.5 尾/回を上回りましたが, 1994 年以降では前年に次いで 2 番目に低い値でした。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222 , FAX : 0154-23-6225)

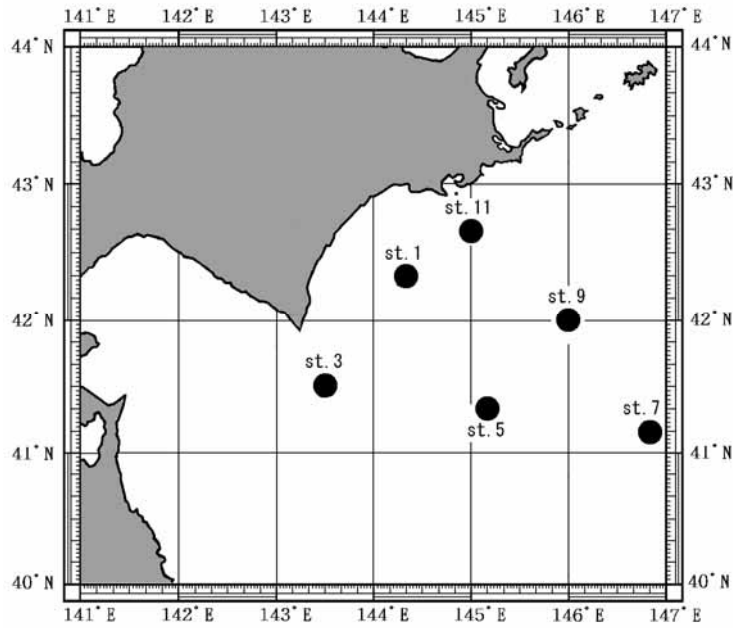


図1 漁獲試験調査点

表1 漁獲調査地点の水温および魚種別採集尾数

調査地点	ST.1	ST.3	ST.5	ST.7	ST.9	ST.11	合計
表面水温	18.1	19.7	22.2	22.3	18.9	18.3	
50m水温	11.5	7.8	11.5	12.1	2.9	10.8	
100m水温	5.8	6.5	8.6	9.4	3.8	4.5	
サバ類	9	75				80	164
マイワシ						52	52
カタクチイワシ	1	87				7,859	7,947
サンマ	37	151	1	6	1,290	601	2,086
スルメイカ							0
アカイカ	141		41	30	20	14	246

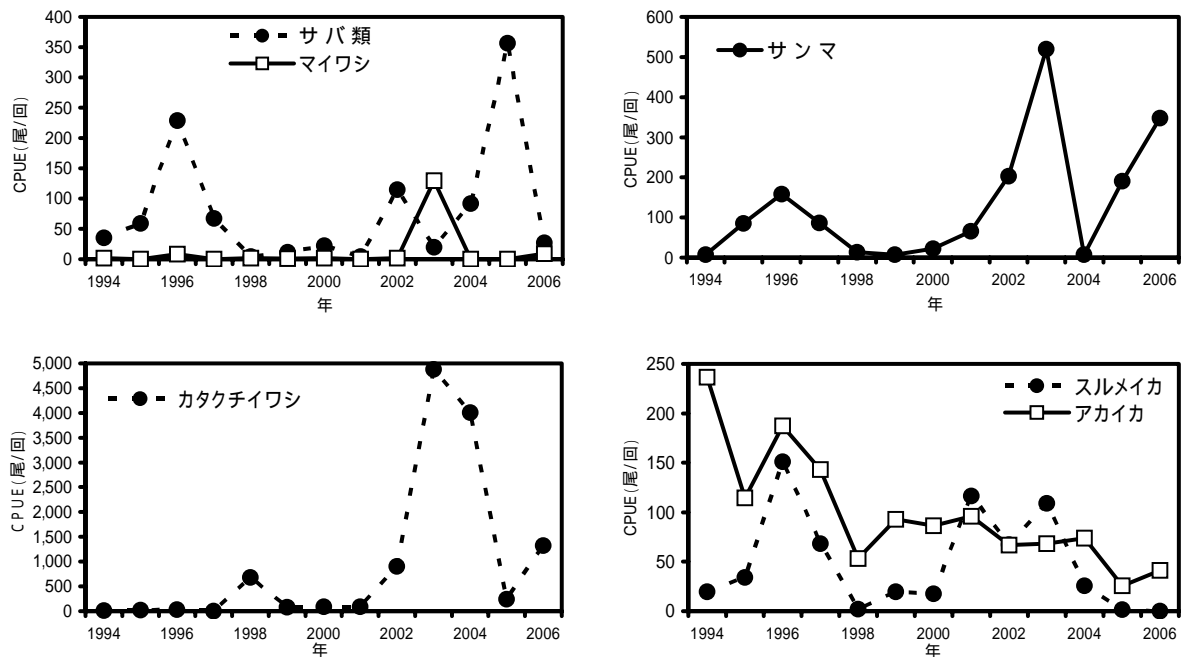


図2 流し網調査1回あたりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化